

老司っ子

学校通信第

14号

平成24年

2月 2日

・よく学ぶ子 (知)
 ・たすけあう子 (徳)
 ・体をきたえる子 (体)

豊かな心づくり 心を鍛え、心を磨く



立春とはいえ、まだまだ寒さが厳しい毎日ですが、子ども達は寒さに負けず元気いっぱい運動場をかけまわっています。体育の時間はサッカー、休み時間はドッジボールと汗する子ども達、一生懸命縄跳びを練習する子ども達等々、校庭をいっぱいを使い、まさに遊びながら自然な形で体力づくりをしています。6年生にとっては、運動場で、そして教室で仲間と一緒に勉強し、楽しく遊ぶのも残り少なくなりました。1年生から5年生の皆さんには、6年生の先輩が「老司小がもっとよい学校になるように」と頑張っている姿をしっかりと見ておいてほしいと思います。

多くの人たちは、朝起きて、また夜寝る前に歯を磨く習慣があります。なぜそんな習慣が身についたのでしょうか。幼い頃は家の人に磨いてもらう。そして自分で磨けるようになって最初は「磨きなさい」と言われ、嫌々でも磨き、そして「磨きなさい」と言われないようにしたいから、虫歯になるのが嫌だからなどということ磨く習慣がついてくる・・・。

でも、それだけではないようです。人から言われたりという外因的な理由だけでなく、歯を磨くという習慣を積み重ねることによって、歯を磨いた後の口の中の爽快感を知っているからということだそうです。このように内面的な動機から習慣化していくことが、本当に習慣として身についたということです。外因的な理由だけでなく内面的な「心」を伴って本当に身についていくものです。元気に挨拶することも、頑張って掃除してきれいになることも、その快さや達成感を味わうことで本当の習慣として身につけてきます。

雑誌のエッセイで「金メダル、トイレ掃除、心づくり指導」ということが目に留まりました。まず一つは、できることの継続で心を強くするということです。トップアスリートといわれる人たちは、いかなる状況でも頑として自分の決めた習慣を変えない。特例を設けない、「心が強くなる」ということでした。次に清掃、奉仕活動で心を磨くということですが、ある選手は合宿先でも人知れずトイレを磨いているそうです。理由を尋ねると「心が落ち着く」ということです。清掃によって自分の「心を磨く」という話でした。

面倒なことやしんどいことを毎日続けることが、心を強くし、心を磨きます。

そして、本当の習慣として身につけていきます。中学生や大人になったとき、このことがきっと役に立つはずです。

トイレの神様・・・いるの?・・・自分の心の中にも!!

上村花菜さんの「トイレの神様」が大変な人気になりました。

歌詞の中に、「でもトイレの掃除だけ苦手な私におばあちゃんがこう言った。トイレにはそれはそれはキレイな女神様がいます。その日から私はトイレをピカピカにし始めた。べっぴんさんに絶対なりたくて毎日磨いた」とあります。トイレ掃除というのは誰からも嫌がられ、できればやりたくないというものです。人が嫌がってやりたくないトイレ掃除も、頑張ってやっているときっといいことがあるよ、自分の心もピカピカになるよということを聞いたことがあると思います。

学校でもいろいろな掃除場所(縦割り清掃)で、先生と高学年のお兄さん、お姉さんの指導の下、道具の使い方、洗剤の使い方、雑巾でのふきかた、ルールを守ってみんなで協力してやることで、自分を少し抑えて社会の規範を優先する心が1・2・3・4年生に育ててきたようです。先生方、高学年の子ども達ありがとう。お家でも、「今日の掃除どうだった」と聞いてみてください。そこから話題がひろがり家庭でも助け合って生きることを学ぶはず。一緒に汗を流し、きれいになっていくことを共有することで、助け合いやお互いを思いやるきっかけになると思います。



2月 行事予定	月	火	水	木	金
			1 全校放送朝会	2 租税教室6年 クラブ活動	3 マイケル先生来校 薬物乱用防止教室6年
	6 委員会活動(4年参加)	7 代表委員会	8 PU1年 ※PTA役員会	9 お話玉手箱(全) ※窓ガラス清掃	10 ※窓ガラス清掃
11 土 建国記念の日	13	14 学習参観	15 PU4年 新一年生入学説明会	16 クラブ活動 (最終)	17 PU3年 6年入学説明会(老司中)
	20	21	22 PU2年	23 お話玉手箱(全)	24 PU1年 マイケル先生来校
	27 PU6年	28 マイケル先生来校	29 お別れ集会 遠足(花畑園芸公園)		

※14日(火) PTA成人教育委員会主催研修会
 講師: 内田 美智子先生
 (人生観が変わるかもしれません 是非ご参加を)

※3月16日 第46回卒業証書授与式
 23日 修了式・離任任式

